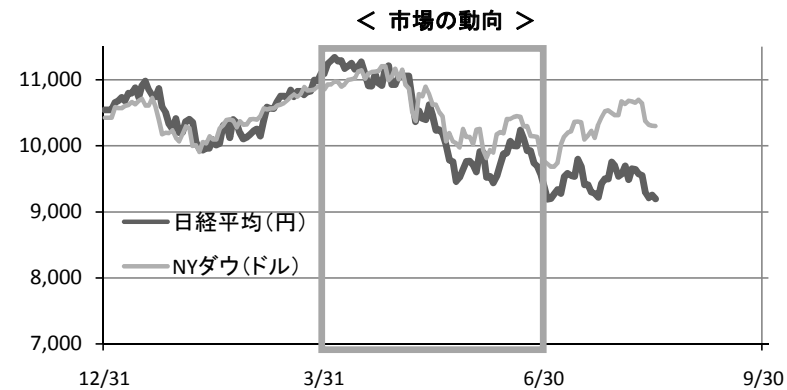


# 年金積立金管理運用独立行政法人の運用結果(平成22年度第1四半期)

○ 第1四半期(4月から6月まで)の運用状況は、ギリシャに端を発する欧州諸国の財政問題により、内外株価が大幅に下落したこと及び円高の影響により、**マイナス2.9%(約▲3.6兆円)**となった。

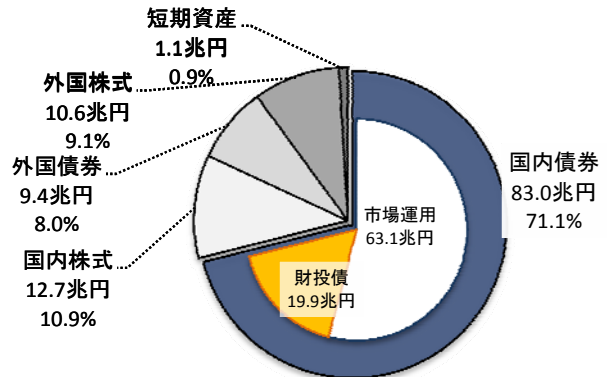
(参考) 年金積立金全体では、13年度(自主運用開始)からの**累積で約19兆円のプラス**。



○ 資産別収益額(収益率)及び年度末運用資産額

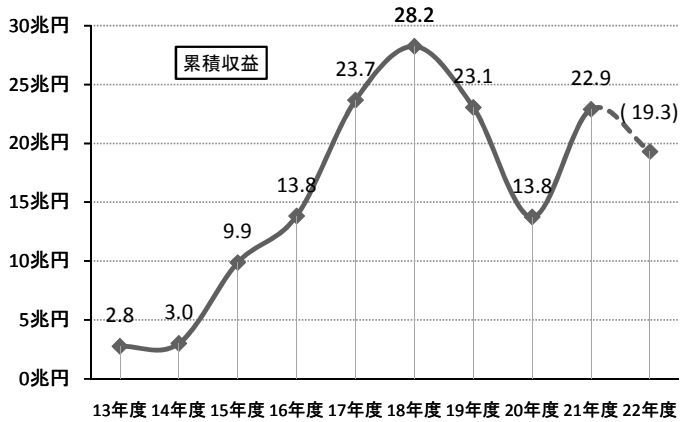
	(単位: 億円)		(単位: 兆円)	
	第1四半期(4-6月)	収益率	運用資産額	構成割合
国内債券	14,868	-	83.0	71.1%
市場運用分	14,182	2.3%	63.1	54.1%
財投債	686	0.3%	19.9	17.0%
国内株式	▲ 20,548	-13.9%	12.7	10.9%
外国債券	▲ 7,617	-7.5%	9.4	8.0%
外国株式	▲ 22,605	-17.4%	10.6	9.1%
<b>運用資産全体</b>	<b>▲ 35,898</b>	<b>-2.9%</b>	<b>116.8</b>	<b>100.0%</b>

○ 年度末資産構成割合



※ 運用資産全体の合計には、短期資産の収益額及び資産額を含む。

(参考) 積立金全体の運用実績(自主運用開始から)



年度	管理運用法人		積立金全体		
	管理運用法人 (兆円)	収益率	預託金 (兆円)	積立金全体の 収益額(兆円)	収益率
13年度	▲ 1.3	▲ 1.8%	4.1	2.8	1.9%
14年度	▲ 3.1	▲ 5.4%	3.3	0.2	0.2%
15年度	4.4	8.4%	2.4	6.9	4.9%
16年度	2.2	3.4%	1.7	4.0	2.7%
17年度	8.7	9.9%	1.2	9.8	6.8%
18年度	3.8	3.7%	0.8	4.6	3.1%
19年度	▲ 5.6	▲ 4.6%	0.5	▲ 5.2	▲ 3.5%
20年度	▲ 9.4	▲ 7.6%	0.1	▲ 9.3	▲ 6.9%
21年度	9.2	7.9%	0.0	9.2	7.5%
22年度	(▲ 3.6)	(▲ 2.9%)		(▲ 3.6)	-
合計	(5.3)	-	(14.1)	(19.3)	-

※1 管理運用法人の収益率は、運用手数料等控除前の収益率。  
 ※2 【 】内は、平成12年度以前の旧年金福祉事業団の損益等を含めた累積損益。

**(年金積立金の管理・運用の基本的な考え方)**

年金積立金は、国民の老後の年金給付に充てるためのものであることから、その運用は、安全を第一に、比較的安全な資産とされる国内債券を中心としつつ、株式等に分散投資を行っています。

しかしながら、市場で運用する限りは、一時的に損失が出ることもあります。損失が出たからと慌てたり、収益が出たからと楽観視するのではなく、長期的な観点に立って運用を行うことが重要です。

# 市場の動向(平成22年度第1四半期)

## 《運用資産全体(市場運用分+財投債)》

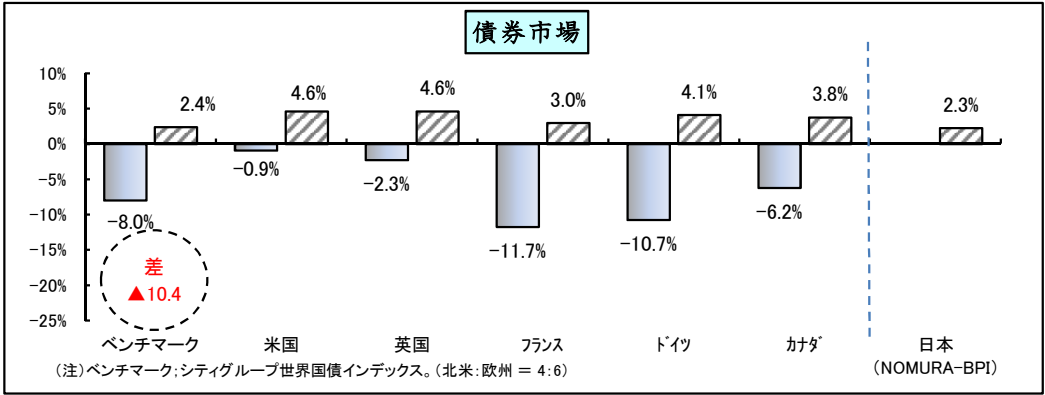
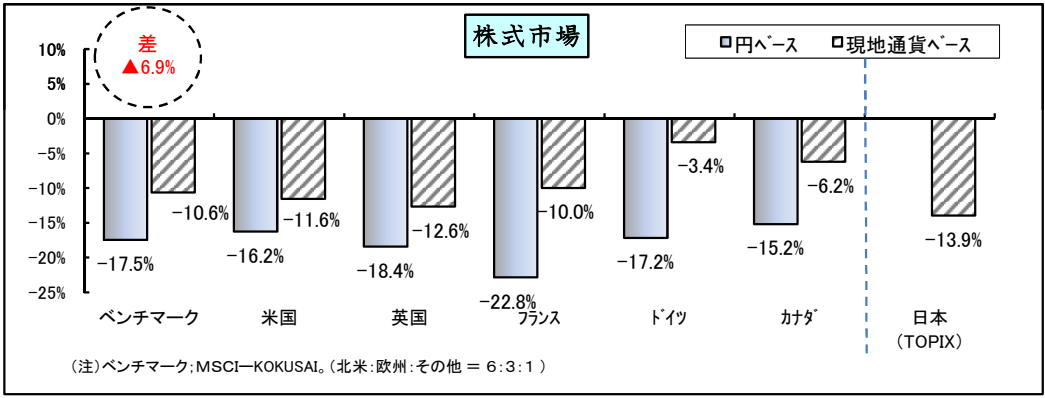
	平成21年度	平成22年度				通期
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率(%)	7.91	-2.94				-2.94
収益額(億円)	91,850	-35,898				-35,898
運用資産額(億円)	1,228,425	1,168,027				1,168,027

※ 収益額は、運用手数料及び借入利息等控除前のもの。

○ 参考指標 (( )内は、21年3月末からの騰落率。)

	平成22年3月末	平成22年6月末
日経平均	11,089.9円	9,382.6円 (-15.4%)
TOPIX(配当なし)	978.8ポイント	841.4ポイント (-14.0%)
NYダウ	10,856.6 <sup>ドル</sup>	9,774.0 <sup>ドル</sup> (-10.0%)
DAX(ドイツ)	6,153.6ポイント	5,965.5ポイント (-3.1%)
為替(ドル/円)	93.4円	88.5円 (-5.3%)
為替(ユーロ/円)	126.4円	108.4円 (-14.3%)

平成22年7月末
9,537.3円 (-14.0%)
849.5ポイント (-13.2%)
10,465.9 <sup>ドル</sup> (-3.6%)
6,148.0ポイント (-0.1%)
86.7円 (-7.3%)
112.9円 (-10.7%)



○ 海外の年金基金に比べて安全重視の運用  
(「国内債券を中心とした分散投資」)

(参考) 海外の年金基金の運用状況

	22年度 (4-6月)	(21年度)	(20年度)
・ CalPERS <株式 約5割> (米)カリフォルニア州職員退職年金基金)	▲4.5%	(25.2%)	(▲29.1%)
・ CPPIB(カナダ) <株式 約6割>	▲1.3%	(14.9%)	(▲18.6%)
・ GPF-G(ルウエー) <株式 約6割> (全て海外資産)	▲0.2%	(25.5%)	(▲9.5%)
・ AP1~4(スウェーデン) <株式 約6割> ※ 各基金の資産残高で加重平均	-	(19.7%)	(▲21.6%)
	(1-6月)	(1-12月)	(1-12月)
・ 管理運用法人 <株式 約2割>	▲2.9%	(7.9%)	(▲7.6%)